

童

2021年12月23日。

冬休み前に、大地は真っ白に染まりました。昨年もそうでしたが、前日までは、青空が広がり、秋の世界だったのが、夜の嵐の風とともに、別世界が誕生しました。その美しさを楽しむよりも、その激変さに恐怖を感じるほどでした。が、たかはしべんさんの素晴らしい歌声に呼び戻されて、お昼から美しい大地の雪の光景が広がりました。

そして、子ども達が登園した月曜日、大地の最高の冬景色でした。青空 朝霧 パウダースノー 雪帽子 など 感謝感激の雪に感動する日でした。子ども達は、待ちかねたように、雪遊びをするのでは無く、雪食べにいそしみました。年長児は、いきなりスコップを持って、ガレージの屋根の雪おろし。ちょっと緩み始めた雪がほどよく、みるみるうちにきれいになっていきました。屋根の上から見る雪景色は最高です。そして、最後は屋根からのダイブでした。

年中児は、スコップ片手に、五右衛門風呂 薬草棟 文庫のベランダの雪おろし。こちら、ベランダからスコップを落としては拾うなどをしていました。完璧に、きれいにしてくれました。もちろん、年少児は、雪に座り込んで、盛んに、雪を平らげようとしていました・・・

更に、好天に恵まれての、年長児のクロカン。こちら、これ以上無いという天気のもとで、大地から教会方面目指して、林檎畑の中を進みました。360度のパノラマの中、パウダースノーを歩く子供たちの姿、教会から見た雲海の光景 こんな世界に子供たちと浸れて、とても幸せな瞬間でした。雪のかぶるリンゴ畑の中を、志賀高原や北信五岳を見ながら歩くのは最高です。大地のクロカンは、大人も子供も 素晴らしい世界に案内してくれます。

早朝からの除雪作業（神秘的で好きな仕事ですが、降りすぎるとさすがに恐怖！！）は、景色を堪能する場ではないですが、生活基盤を整えての苦労の後は、やはりご褒美があります。ここにも、**本当に楽しいことは、決して楽なことではない** 世界があります。

年末年始、本当に楽しいことを 満喫してください。大地も、相変わらず、24時間体制でキャンプに明け暮れますが、小中学生の世界も、本当に楽しいです！！

【ほどほどがいい】

身の丈にあった ちょうど良いあんばい 良い意味での中庸 居心地の良さ 身の程を知る 背伸びしない ほどほどの美しさ 厳しさと寛かさ 秩序



大地は、シュタイナー教育？ オイルトミューもライゲンもないし、美しい振る舞い？もありませんね。それでも、その理念は正しい真理だと考えているので、大地なりに**ちょうど良いあんばい**で考えて実現実践しています。シュタイナー一途では無く、納得できる世界のみ（自分たちが心地よいと感じるところ）、いいとこ取りしています。だから日本で一番いい加減な 主体が無い教育（シュタイガナイ教育）でしょうか・・・

お隣のサザンツの美しさ。教会やレストラン 芝生広場など、洗練された美しさや建物 看板 調度品などなど。同じ丘に建つ大地。洗練されているとは言い難い電柱の看板を横目に、靴に優しくない農道を歩きます。東京青山六本木から、浅草の裏通り（浅草出身の方失礼 浅草はよく知りませんが）に入ったような感じですか？ 世間では 森の幼稚園とか信州型自然保育などの範疇に入っているように思われていますが、大地は、ただ人が暮らす里山の家だと位置づけています。大地が、目指すのは、ほどよい美しさ。手が入っていないようで、ほどほどに手と気持ちが入っている世界。気軽に手を伸ばせない、触れない、吟味できないのではなく、気持ちを込めて気軽に大切に楽しんでもらえる世界

それには、陰に日向に、キラリとしたセンス（があるかどうか不明ですが）を楽しみながら、何気ない質のいい世界を追求していきたいという理念です。それも、他者にアピールしたり媚びたりするのでは無く、自分の本性に素直に満足していればよいと思っています。田園調布には住めないけれど、時には、青山の裏通りにはほどほどに住める自信があります。（30年前から、都会に別荘を持つ時代だと叫んでいました！！）だから、大地は 田園調布にはなれない。

食べ物も、身体に良いものをできるだけ考えての生活。オーガニックな食事 ベジタリアン ビーガン など、身体には確かに正しいし、素晴らしいと思います。それぞれに意識をもって、自分を苦しめること無く、努力をしていけばいいと考えます。ホームグランドとアウェイ。ホームグランドがしっかりしていれば大丈夫か。

95歳と90歳の両親。町でも一番の長寿の夫婦。父親は、若い時から、豚の脂身が大好き。さかえや食堂から、つい数年前まで豚の脂身だけを頂いてきていた。大地野外教室に手伝いで同行した時も、疲れたらたっぷりの白砂糖をなめていた。酒は飲まないが、煙草を若い頃吸い、オーガニックな食事とは縁遠い生活の中で、青ちゃんも育ちました。ただ、家族全員、勤勉で働き 早起きで、リズムある暮らしでした。

大地は、もちろん通常の保育生活では、手作り食品 無添加食品調味料 無農薬野菜などにできるだけこだわり注意しています。しかし、青ちゃん夫婦は、プライベートでは、肉魚から、外食 ハーゲンダッツからスイカバーまで、おちゃらけで食べています・・・。テレビを見たら、その**3倍 外で遊べば浄化される** というように、食べ物も、浄化される努力を、身体と心のケアをその後すれば大丈夫だと信じています。

大地の環境や無農薬食品などを考える中、大地は 周囲にりんご園やぶどう園があり、消毒が行われています。30年前までは、大地のスロープは林檎畑 上のスロープは20年前まで、ひまわりロードは、6年前位まで、林檎畑でした。年に10回ほど行われる林檎や葡萄の消毒問題に常に頭を痛めてきました。自分の果樹園の伐採、周囲の果樹園との境界への植樹、そして、周囲の農家との消毒散布時間帯の折衝など。運良く、減農薬有機の流れと世代交代の中で周囲の理解と影響の少ない環境が確立されてきております。このあたりも、周囲の農家とちょうどいいあんばいの付き合いが、子ども達を幸せに応援見守って頂ける環境です。

最後に 大地は、保育園か幼稚園か。両親が、安心して賃金がもらえる仕事がフルタイムできるように、朝から晩まで子ども達を預かる機能の保育園。両親のどちらかが育児ができる家庭が入れる幼稚園。大地は、制度的に、認定子ども園ですので、どちらの機能もあります。大地の理念は、一度しか無い短い幼児との親子時代を、子ども共に、その時期しかできないことを、たっぷり楽しむ事。賃金仕事は辞めるのでは無く、一時中断 先送り。子どもの未来、将来の人材 孫を育成する仕事を楽しんでほしいというものです。賃金交換の仕事、人材育成の仕事。片方は、お金で、他人に人材育成を頼めば良いし、片方は、自らが人材育成を引き受ければ良いかの話。どちらが良いかでは無く、それは、その家庭が決めればよいと思います。その選択肢の先に、保育園か幼稚園があると思います。

居心地の良さを決めるのは、各家庭両親の本性にあった位置の自覚ですね。大地は、高級レストランでも無く、場末の一杯飲み屋でも無く、変幻自在の創作料理のファミレスという感じでしょうか・・・ 乞うご期待